

PICK UP_でちこんか 夏の陣

第15回 四万十源流

広見川上り駅伝大会

四万十川の支流、広見川。

清流の清涼感や恩恵を
体いっぱいに感じながら
チームのため、
そして自分自身のために
188人の選手が広見川に挑んだ。



3

1_三島小学校児童4・5・6年生が参加した「戸祇の子の部」。子どもたちにも川に親しんでほしいとの思いで新設された部門 2_駅伝の命とも言えるたすきは選手が被るヘルメット。各チームそれぞれが絆のリレーをつないだ 3_選手宣誓をする昨年度優勝チーム「アメンボ軍団」の清家選手。「地震で被災された東北地方の人たちに元気を届けられるよう頑張りたい」と力強く宣誓 4_甲岡町長のピストルの合図とともに一斉に走り始めた駅伝一般の部と、1区から3区までを一人で走り抜く鉄人の部の選手。上位目指して全員必死 5_4区からスタートの駅伝女子の部。男性顔負けの軽快な走りを見せた 6_走り終えた選手や観客らが、小雨が降る中、橋の上から選手に声援を送る。大会の盛り上がりが伺える



1

2

盛り上がる15年目の川上り

日本最後の清流四万十川の支流である広見川。その広見川を舞台に熱戦が繰り広げられる「四万十源流・広見川上り駅伝大会」。今年で15回目の開催となりました。大会も、年々知名度が上がり、回を重ねるごとに参加者が増えており、大阪府や岡山県など県外からの参加もあるほどになりました。また、今年は過去最高の参加申し込みがあり、今まで以上の盛り上がりが期待されていました。しかし、本来開催を予定していた7月は前日の降雨による川の増水で開催を延期しました。多くのチームが参加



5

【大会結果】 ●駅伝一般の部

①寿吉らんらんクラブ	46分21秒
②かあんまあくん	47分13秒
③アメンボ軍団	54分27秒
④井上直人(かあんまあくん)・伊勢本哲也(すねかじり)	5分08秒



内子レディースA

●駅伝女子の部

①内子レディースA	41分03秒
②つぶづロイDE	42分39秒
③内子レディースB	44分52秒



寿吉らんらんクラブ

●駅伝一般区間賞
①兵頭和一(かあんまあくん)5分28秒
②有光浩(寿吉らんらんクラブ)4分27秒
③有光浩(寿吉らんらんクラブ)4分27秒
④井上直人(かあんまあくん)・伊勢本哲也(すねかじり)5分08秒
⑤五島暁(かあんまあくん)7分14秒
⑥西山大輔(アメンボ軍団)5分00秒
⑦岩波道信(寿吉)